



Kansai American Center

Public Affairs Section: Culture, Policy, Press

Phone: (06) 6315-5969 Fax: (06) 6315-5999

Information Resource Center

Phone: (06) 6315-5970 Fax: (06) 6315-5980



講演会/ディスカッションへのご招待 **逐次通訳付・参加費無料**

ロボット開発の日米協力 — 新たなビジネスの創造へ —

現代社会においてロボットは、我々の日常生活に欠かせない、一翼を担う存在です。その役割は農業、医療、介護など様々な分野に及び、更なる技術革新が期待されています。アメリカのロボット開発は、インフラの調査、保険の契約査定、経済的損失の軽減、公共機関の安全性向上など多岐にわたっています。一方日本では原子力発電所事故など、多くの被害をもたらした東日本大震災がロボット開発の考え方を

根本から変えました。本講演会では、災害救助活動におけるロボットの役割を研究しているテキサス A&M 大学のロビン・マーフィー博士をお招きして、ロボット開発における日米協力関係と、それがもたらすビジネスチャンスについてお話をさせていただきます。今後更なる発展が期待されるロボットテクノロジーの可能性と、その成果を社会に還元するために今何をなすべきなのかを考えてみませんか。

日時 ◆ 2015年9月7日(月) 午後3時から5時まで

会場・申し込み◆ 大阪府立大学工業高等専門学校 図書館視聴覚大ホール
〒572-8572 寝屋川市幸町 26-12 (別紙地図参照)
Fax: 072-820-8599 Tel: 072-821-6401 (代表)

定員◆ 50名(先着順)

お問合せ◆ 関西アメリカン・センター (担当 中西)
E-Mail: nakanishiex@state.gov Tel: 06-6315-5969

講師 ◆ テキサス A&M 大学 ロボット支援探索救助センター所長
ロビン・マーフィー 氏

司会 ◆ 大阪府立大学工業高等専門学校 准教授
国際レスキューシステム研究機構 理事
土井 智晴 氏

共催 ◆ 関西アメリカン・センター
大阪府立大学工業高等専門学校

ロビン・マーフィー 氏のご紹介

テキサス A&M 大学コンピューターサイエンス・エンジニアリング部のレイテオン社記念教授。IEEE 研究員であり、ロボット支援探索救助センター(CRASAR)の所長も務める。ジョージア工科大学で博士号を取得。NSF、DARPA、海軍研究局(ONR)などの機関から資金提供を受け、人工知能およびレスキューロボットに関する人間とロボットとの相互作用を研究している。11件の災害での都市の捜索および救助活動において、地上、航空、海洋ロボットを出動させた功績から、競基弘賞(日本)、アルオーブ貢献賞(AUVSI)、およびイーグル賞(NIUSR)を受賞した。現在、国防科学委員会(DSB)およびコンピューティング・コミュニティ・コンソーシアムの委員を務めている。

Consulate General of the United States, Osaka-Kobe
2-11-5, Nishitenma, Kita-ku, Osaka 530-8543

準備の都合上、ご出席を添付のファックス用紙にてご連絡ください。
 数名まとめてご連絡くださっても結構です。



<<< 9月7日 ロビン・マーフィー氏 講演会 申し込み書 >>>
 返信 FAX : 072-820-8599

		日本語	英語
ご氏名			
ご所属	学校・会社		
	学部・部署		
	学年・役職		
	連絡先	電子メール： ファックス： 電話：	
特記事項			